市営住宅120戸に温水供給

市EMS実証

太陽光発電の普及拡大へ

取り組みの現状など報告

宮古島市全島エネルギーマネジメントシステム（EMS）実証事業推進委員会（委員長・伊庭健二明星大学教授）の2018年度第1回が4日、市中央公民館大ホールで開かれた。委員4人と関係者らが参加。EMS実用化を目指し行われている太陽光発電（PV）エコキュート（電気式給湯器）普及事業や島しょ型スマートコミュニティ実証事業について事業実施事業者が取り組みの現状などについて報告した。

事業の取り組み状況などについて説明を聞く委員（左奥の4人）ら＝4日、市中央公民館大ホール

PVエコキュート普及事業とは、太陽光発電で得られた電気を利用してエコキュートで給湯することで、ガスで給湯するよりも安価で温水を利用できるというもの。事業者である宮古島未来エネルギーが県補助などを活用して設備を調達、所有してサービスを受ける需用家の敷地内に設置し、電気や温水を提供することで再生可能エネルギーの普及拡大を目指す。

委員会では宮古島未来エネルギーの担当者が、今年度は市営住宅40棟120戸へ、50度の温水を100㍑45円で供給したことを報告。2019年度からは戸建て住宅を対象に、太陽光発電やエコキュートで温水を提供するだけでなく、蓄電池も導入することで電力も提供。余剰電力があれば売電する予定であることなどを説明した。

島しょ型スマートコミュニティ実証事業とは、事業に協力している家庭や事業所に設置しているインターネットと接続するメーターでエネルギー使用量などを把握、管理することで電力需要の制御を行うもの。遠隔操作で太陽光発電やエコキュート、蓄電池などの制御を行うことができる。

委員会では事業者のネクステムズの担当者が、18年度事業として家庭エネルギー消費構造についてのアンケート調査やシンポジウムを実施するほか、これまでにシステムに蓄積されたデータの収集や評価、農業におけるEMSの効果検証などを行うことを紹介した。

全島EMS実証事業で導入が検討されている、市民から資金を募る市民ファンドについての説明も行われた。

市議会

きょうから12月定例会

初日は議案提案理由説明

宮古島市議会（佐久本洋介議長）12月定例会が5日から開会する。会期は19日までの15日間で、初日は市当局が提出する議案の提案理由を下地敏彦市長が説明する。一般質問は12日から14日と17、18日の5日間を予定している。

今定例会に市当局が提出するのは、一般会計や特別会計などの補正予算案8件、条例を制定、改正、廃止する条例議案14件、指定管理者の指定13件を含む議会に議決を求める議決議案21件、任期満了に伴い新たな人権擁護委員を推薦意見を求める計44件。

一般会計補は13億4759額を、条例案で地庁舎3階を可能な施設と条例制定案など決議案では市総

鏡原で29・8度観測

全国で1番目の最高気温

宮古島地方気象台

宮古島地方は4日、気温の各観測点で最高気温が12月の観測史上最高を更新した。鏡原（宮古空港）では、午後1時37分に平年よりも6・2度高い29・8度を観測し、全国で最も高い最高気温となった。また2月の全

29・8度（午後1
良間村仲筋（多
29・2度（午前11
地島空港で28・
時53分）、平良下
地方気象台）で
後1時16分）を

宮古島地方気
と、この暑さは
ある高気圧の

土砂積み込み一時中断

知事指摘受け

辺野古移設

政府は、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の同県名護市辺野古への移設工事をめぐり、名護市の民間港湾施設で3日に始めた埋め立て用の土砂の運搬船への積み込み作業を一時中断した。岩屋毅防衛相が4日の閣議後記者会見で明らかにした。

お天気

前線や気圧の谷の影響でくもりや雨の天気となり、所により雷を伴うで

きょう

知事

「国と住民の対話構築を」

空パイロット養成事業は、19年5月の開業向け、航空機使用事業免許の取得や実

海上保安庁の協力を得て、緊急搬送体制を整備している。専門家による巡回診療

しては、大浜浩志環境部長が「自衛隊配備に係る環境調査は、事業者でる